

どんなことでもあいをもってしよう。

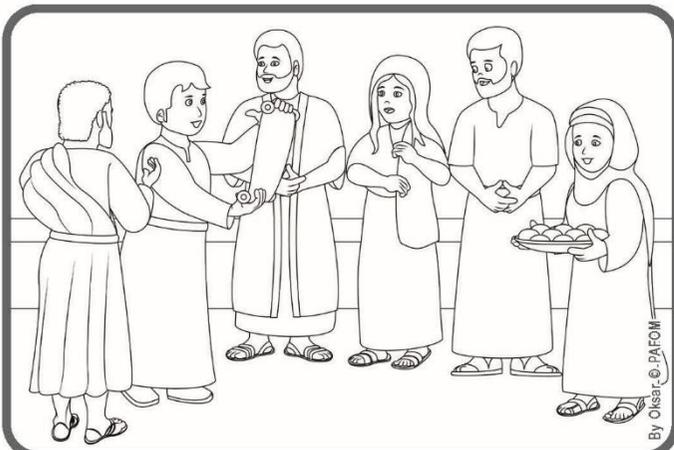


フオコラーレ

focolare.org/japan

すべてのことをあいのうちにおこないなさい。

(Iコリント16, 14)



イエスさまのふっかつのあと、いろんなまちに、クリスチャンのグループができました。しとたちは、たくさんたびをして、みんながイエスさまのおしえをいきれるように、たすけています。パウロは、コリントのクリスチャンたちにがみをかいています。



おおきなあいをもって、たすけをひつようなひとたちのため、よぶんなものをとっておくように、そして、よろこびのうちにたくさんにひとたちに、イエスさまのことばをつげるようにとっています。



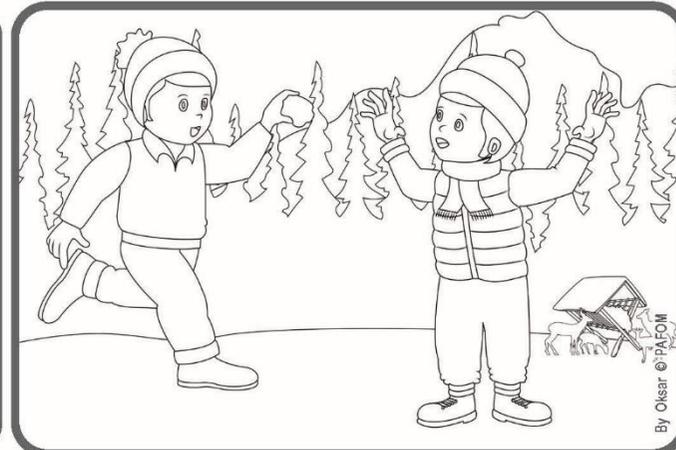
さいにまであいて、どんなことでもあいををもってすることをわすれないように、このようにあいてついています。「すべてのことをあいをもちておこないなさい。」そうです、なぜなら、あいがイエスさまのともだちであるとわからせてくれるからです。



ジャネットはスロベニアにすんでいます。あるふゆのにちようび、パパがいました。「さむいけどすてきなひになるよ！ いっしょにもりにいってくる？ いろんなやぎたちにほしくさをやらなければいけないから！」



まだあさはやくで、ジャネットはまだあまなくて、あつかいえいいたいとおもいました。でも、パパはおてつたかひつよう、とおもいいっしょにふくをきてでかけ、はじめのところにつくと、あいをもちてほしくさをゆるるためのふくろをひらきつけました。



べつ、かこいのところにつくと、マルチンにあいました。かれは、ジャネットのともだちのじぶん4です。「ほくもてつだうよ。」いっしょにすることはもちてすてきです！ しごとはずぐにおわって、そのあとゆきがかっせんであそびました！